



休眠預金 草の根活動支援事業（地域ブロック）2023年度  
**地方都市・農山村におけるコミュニティの持続的発展**  
**～地域社会の底力発揮～**

---



一般財団法人中部圏地域創造ファンド

2023/12/6・11

# 休眠預金事業 めざす姿と基本原則

(公募要領P5～6)

## 02 めざす姿

- ・社会課題の解決のための自律的かつ持続的な仕組みが構築される
- ・民間の資金を自ら調達して事業の持続可能性を確保する
- ・社会課題解決能力が飛躍的に向上する
- ・持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献する

## 03 基本原則

- ①国民への還元 ②共助 ③持続可能性 ④透明性・説明責任 ⑤公正性  
⑥多様性 ⑦革新性 ⑧成果最大化 ⑨民間主導

## 助成額・助成期間・対象地域（公募要領P8）

項目	内容
助成総額(3年間)	8,550万円、1チーム上限 2,850万円
助成対象団体総数	3チームを予定
助成期間	2024年4月～2027年2月(3年未満)
対象となる活動地域	愛知・岐阜・三重・静岡・長野 ※事業の実施地域は、基本的に名古屋市およびその周辺都市以外。ただし、人口や雇用機会の減少が著しく、過疎化やコミュニティの衰退に直面している都市は対象

# 助成額・委託費

(公募要領P8~9)

総事業費			
【A+B】 事業の費用			【C】 評価の費用
B 自己資金・民間資金	助成金総額		C 評価関連経費
	A 助成額 (事業費)		
	A+Bに対して80%以下		
A+Bに対して20%以上	●直接事業費 Aに対して85%以上	●管理的経費 Aに対して15%以下	Aに対して5%以下

   は、現場団体

# チームに期待される役割 (公募要領P10)

---

- ・チームで取り組む意義・有効性を認識・共有する  
(幹事団体の主導性、現場団体の協力、一体的な取組み)
- ・行政の縦割りに横串を指す、公的制度の狭間の社会的課題の抽出・可視化する
- ・チーム活動が地域社会の中で必要なものとして認知され、支援協力者の増大につながる

※現場団体の過半数は、これまで幹事団体と連携した活動実績があること

# 事業の評価 (公募要領P10)

## 社会的インパクト評価 (JANPIAのWEB「休眠預金活用における社会的インパクト評価」参照)

短期・長期の変化を含め、当該事業や活動の結果として生じた社会的・環境的な「変化」や「便益」などの「アウトカム(短期・中期・長期)」を、定量的・定性的に把握し、当該事業や活動に価値判断を加えること。

### 1年目前半

#### 事前評価

事業の必要性・妥当性の検証。事業計画の改善点を発見

### 2年目半ば

#### 中間評価

成果の進捗状況を把握。達成見込みを高めるための改善を検討

### 3年目後半

#### 事後評価

成果の測定と事業の価値判断を行い、学びを抽出する

事業進捗報告

# 申請資格要件

(公募要領P11、12)

---

## 【民間公益活動を行う団体】

- ・法人格の有無や法人の種類は問わない。NPOはもちろん、企業等も対象。自治体は対象外。
- ・JANPIAが規定するガバナンス・コンプライアンス体制を備えていること。
- ・支援活動に必要で役割が明確な個人も、現場団体と同様、チーム構成団体の範疇。

## 【注意事項】

- ・同時期に他の資金分配団体に申請している／する予定の事業と別事業である
- ・既に休眠預金事業として採択されている事業とは別事業である
- ・資金分配団体と申請団体との役員の兼職は不可(6か月以内は申請不可)

# スケジュール (公募要領P16、18、21)

---

- 【公募期間】 12月1日(金)～**2月5日(月)17時まで**
- 【個別相談】 12月13日(水)、16日(土)、1月10日(水)  
予約要・先着順  
13:00-13:30 13:45-14:15 14:30-15:00 15:15-15:45 16:00-16:30 16:45-17:15
- 
- 【面談審査】 **2月29日(木)**
- 【内定通知】 3月中旬予定 審査結果は幹事団体に文書通知
- 【契約締結】 4月以降

※実行団体の公募に申請した団体の情報(団体名・所在地・事業名・事業概要)の公開  
選定した実行団体の情報、選定過程・理由等の公開 →CCFのWEBサイトにて

# 申請方法

(公募要領P16-17)

---

- ・幹事団体が、現場団体の書類もとりまとめて申請してください。
- ・公募期間中に必要書類をそろえ、**メール**で申請してください。  
紙での申請は受け付けません。

[kusanone2023@crcdf.or.jp](mailto:kusanone2023@crcdf.or.jp)

※申請書類を受領したら「受領確認メール」を返送します。  
届かない場合は、当ファンドに問い合わせてください。  
TEL:(052)228-0350

# 申請書類 (公募要領P17)

様式をWEBサイトから  
ダウンロードしてください

## 申請事業ごとに提出する書類

申請書類	形式	幹事	現場	備考
様式1 助成申請書	PDF	●	—	押印
様式2-1 事業計画書	EXCEL	●	様式2-2●	
様式3-1 資金計画書	EXCEL	●	様式3-2●	
その他(計画の別添書類)	PDF	任意	任意	
様式4 チームに関する誓約書	WORD	●	※	幹事がまとめ、押印
様式8-1 自己資金に関する申請	WORD	●	様式8-2●	該当団体のみ、押印
様式9 申請事業総括表	WORD	●	—	
チーム覚書	WORD	●	※	幹事がまとめ、選定後提出
参考資料A 参考資料B	PDF	任意	—	

# 申請書類 (公募要領P17)

様式をWEBサイトから  
ダウンロードしてください

## 団体ごとに提出する書類 (個人は不要)

申請書類		形式	幹事	現場	
様式5 団体情報		EXCEL	●	●	
様式6 役員名簿		EXCEL	●	●	パスワード要
様式7 ガバナンス・コンプライアンス体制現況確認書		EXCEL	●	●	別添1参照
定款		PDF	●	●	義務がない団体は規約等
登記簿事項証明書(全部事項証明書)		PDF	●	—	発行3か月以内写し
事業報告書		PDF	●	●	過去3年分、3年未満の団体は提出可能期間のみ
決算報告書類	賃借対照表	PDF	●	—	
	損益計算書(活動計算書、正味財産増減計算書、収支計算書等)	PDF	●	●	
	監事及び会計監査人による監査報告書	PDF	●	—	

# 審査(公募要領P19)

ガバナンス・コンプライアンス

事業の妥当性

実行可能性

継続性

先駆性(革新性)

波及効果

連携と対話

※その他選定時の留意事項もご参照。

# 資金提供契約について（公募要領P23～24）

---

(1) 進捗管理、各種報告。

- ・月1回以上、チーム構成員との対面での進捗状況の協議（WEB会議を含む）
- ・幹事団体は、2か月ごとに休眠預金助成システムによる進捗状況報告。  
年度ごとの事業・収支の報告。

(2) ガバナンス・コンプライアンス体制の整備

(4) 事業の評価 「社会的インパクト評価」による成果の可視化

(6) 情報公開 必要な規程類、人件費の水準等の自団体のWEBによる公開

助成システムに登録された各種計画、進捗等の報告の公開

（公開情報として登録されたものののみ）

(8) 規程類の整備

# 問い合わせ先

---

○申請についての問い合わせは、

メール([kusanone2023@crcdf.or.jp](mailto:kusanone2023@crcdf.or.jp))でのみ対応します。

担当者: 神原・三島

○他の申請者にも共通すると思われる内容は、

Q&Aの形で当ファンドのWEBサイトに掲載します。

[https://www.crcdf.or.jp/9\\_kyuminyokin/kusanone2023.html.or.jp/](https://www.crcdf.or.jp/9_kyuminyokin/kusanone2023.html.or.jp/)

